

令和6年 中標津町議会6月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	7番 <small>むねかた かずき</small> 宗形 一輝	<p>世帯収入を上げる仕組みについて</p> <p>1) 世帯収入を上げる仕組みを 「世帯収入が増える施策」とは、具体的にどのような事業・目標数値と考えているか？</p> <p>2) 事業者支援の拡充を 世帯収入を増やすために、町内企業の売り上げが増となるような独自の施策展開が必要と考える。具体的にはインターネット上で行われる物やサービスの取引（Eコマース）のサポート等をすべきでは？</p> <p>3) 可処分所得を増加させる施策の研究を 町民税・法人町民税等を減額し可処分所得を増やすことにより、実質的に負担なく子育てができるかと考える。また、消費の増や事業者数の増加で自然と税収は増えてくるのでは？商業が強い町として施策を研究していく価値はあるのでは？</p>	町長 町長 町長
2	8番 <small>えぐち ともこ</small> 江口 智子	<p>1) 軟骨伝導イヤホンを窓口に 加齢性難聴を抱えた高齢者の福祉向上のため、役場や病院の窓口で会話を聞き取りやすくする軟骨伝導イヤホンを導入しては？</p>	町長
3	9番 <small>たかはし よしさだ</small> 高橋 善貞	<p>地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会は機能しているのか</p> <p>1) 釧根トライアングル整備構想3路線の優先順位 過去、3路線（釧路～根室・根室～中標津・中標津～釧路）の優先順位を決めるべきとの質問に、「優先順位は決めるべきではない」と町長が答弁。昨年6月定例会では中春別～中標津間を優先と考えると答弁。11月には釧路根室道路期成会で国土交通省等に出向き要請している。近年の言動が過去の答弁とかがみ合わないのでは？</p> <p>2) 釧路中標津道路の重要性を再認識すべき 緊急患者搬送や高度医療を受ける「命の道路」として整備の重要性・緊急性を再確認すべきで、高規格道路整備により釧路市までの走行時間を短縮できれば、確実に救命率は高くなる。また、酪農（生乳）をはじめ農業資材生産物・海産物を運ぶ産業道路、重要な災害支援道路として認識しているのか？</p> <p>3) 道東道（阿寒IC～釧路西IC）開通効果を利用した誘客PRとは 令和3年に道東道の開通が令和6年度と決定し、同年6月定例会で開通前に「知床方面」への誘客PRを提案したが、期成会の取り組みはなかった。施政方針にある道東道の開通後誘客PRの内容は不明だが、釧路～根室道路期成会のように釧路中標津道路整備促進期成会長として国土交通省などに直接要請活動を行うべきでは？</p>	町長 町長 町長

令和6年 中標津町議会6月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
4	18番 松村 康弘 まつむら やすひろ	1) 格子状防風林の生態系を観光資源の位置づけに	町長
		道内でも例をみない宇宙からも見える北海道遺産・格子状防風林における野生動物の多様性と数の多さ、それに加えて人間の営みとの関係性を考慮すると、着地型観光の柱となりえる。この際、都会の人々を多く招き寄せ、生命達と私たち人間の命について深く思いを寄せる、そのような農道ウォーキングを実現しては？	
		2) 二酸化炭素削減の専門職配置を	町長
		本町の実効あるゼロカーボン対策に強い焦りを覚えるが、これから導入される冷房装置はメンテナンスを必要とする。これにどのように対応するのか。もし委託するなら、そのコストで理工系の専門職を雇うことが可能で、地球温暖化に対抗するため専門人材を配置すべきでは？	
5	3番 阿部 隆弘 あべ たかひろ	1) 岩谷学園ひがし北海道IT専門学校のコース拡充に向けた取組を	町長
		岩谷学園ひがし北海道IT専門学校のコース拡充のため、学校法人岩谷学園と管内1市4町と管内漁業協同組合との連携協定、管内森林組合との連携協定、さらに管内農業協同組合、商工会等、建設業協会、観光協会との連携協定の締結に向け取組を進めては？	
6	5番 佐久間ふみ子 さくま こ	1) 介護支援ボランティアポイント制度の導入を	町長
		本町の高齢者福祉計画等に本制度導入を検討していくと記載がある。介護支援ボランティア活動で、高齢者の健康増進や介護予防につながり、さらに社会参加や地域貢献に資することから「介護支援ボランティアポイント制度」を導入すべきでは？	
7	1番 平山 光生 ひらやま ひろみ	防災について	町長
		1) 賞味期限による飲料水の更新廃止を	
		ペットボトルの水は未開封で正しい保存を行うと、賞味期限が切れても半永久的に問題ないと言われている。食品ロスの観点から町民に周知し理解を得ることで、今後の更新費用を災害用浄水器、シャワー等の購入財源に充てられ、さらに町民自身の防災備蓄率向上につながるのでは？	
		2) 福祉避難所運営訓練の計画は	町長
本町の指定福祉避難所は最大176名が避難できる規模であるが、発災時には様々なニーズへの対応が求められる。必要な物資・器材の備蓄や調達先リストの整備は本町の実情に沿ったものとなっているのか。また、福祉避難所として運営訓練を実施する計画があるのか？			
8	6番 松野 美哉子 まつの みやこ	1) 地域公共交通計画が町民に広く伝わる対策を	町長
		現在、地域公共交通活性化協議会では、公共交通の調査・研究・検討が行われているが、その情報を必要とする町民に伝わっていない場面が見受けられる。当協議会の進捗状況が町民に広く伝わっていないのでは？	